



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月13日

上場会社名 株式会社ヒガシマル 上場取引所 福
 コード番号 2058 URL <http://www.k-higashimaru.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 東 紘一郎
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 木通 昌生 (TEL) 099-273-3859
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	8,042	21.1	492	35.6	532	31.4	447	36.8
25年3月期第3四半期	6,642	△10.5	362	63.8	404	164.5	327	—

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 462百万円(△2.5%) 25年3月期第3四半期 474百万円(334.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	95.17	—
25年3月期第3四半期	69.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	12,093	5,354	44.3
25年3月期	10,606	4,929	46.5

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 5,354百万円 25年3月期 4,929百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,857	20.0	508	87.6	490	82.4	345	30.2	73.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	4,746,000株	25年3月期	4,746,000株
26年3月期3Q	40,889株	25年3月期	40,889株
26年3月期3Q	4,705,111株	25年3月期3Q	4,705,144株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は今後の様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。なお、上記予想に関する事項は、四半期決算短信 [添付資料] 3 ページ、「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済対策・金融政策等の効果や期待感を背景に、円安により輸出は回復基調で推移し、株価の上昇が資産効果を通じて個人消費を押し上げるなど、全体的に景気回復の兆しが見られました。しかしながら、円安や原油高に伴う輸入原材料の高騰、海外経済の停滞や新興国の緩慢な動きに伴い景気下振れリスクも存在しており、依然として先行き不透明な状況が続いております。

当社グループを取り巻く環境におきましても、主原料（魚粉・小麦粉）の高騰、燃料及び石油関連資材などの値上がりの影響を受けており、また、消費者の節約・低価格志向が根強いことから、価格競争が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような経営環境の下、当社グループは市場動向を見極めながら積極的な販売活動を展開するとともに収益力の向上に努めてまいりました。一方、事業領域の拡充及び販路拡大など攻めの販売体制を強力に推し進めるなか、平成25年7月31日に株式会社向井珍味堂を子会社化（100%子会社）いたしました。

なお、株式会社向井珍味堂につきましては、第2四半期連結会計期間末（平成25年9月30日）を支配獲得日とみなして処理していることに伴い、同社の業績は、当第3四半期連結会計期間から連結業績に含まれております。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は80億42百万円と前年同四半期と比べ13億99百万円（21.1%）の増収、営業利益は4億92百万円と前年同四半期と比べ1億29百万円（35.6%）の増益、経常利益は5億32百万円と前年同四半期と比べ1億27百万円（31.4%）の増益、四半期純利益は特別利益に負ののれん発生益が92百万円計上されましたが、法人税等が99百万円増加したことから4億47百万円と前年同四半期と比べ1億20百万円（36.8%）の増益となりました。

なお、養魚用配合飼料の需要は、養殖魚の成長過程に応じ、摂餌が旺盛になる夏から初冬までが多く、水温が低下し餌食いが鈍くなる冬から春は少なくなるという季節的変動があります。したがって、当第3四半期連結会計期間の売上高及び売上原価は、第1四半期連結会計期間及び第4四半期連結会計期間と比べ高くなる傾向にあります。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①水産事業

水産事業におきましては、養魚用配合飼料の主原料（魚粉）の価格が高値圏で推移していることや、魚価相場も低調で厳しい環境が続いております。

このような状況のなか、エビ飼料類は既存客先のシェアアップが図られたほか、マダイ飼料類は値上げ前の積極的な前倒し受注から売上高は増加しました。ハマチ飼料類は、養殖在池尾数の減少や鮮魚相場低迷の影響から他社との価格競争等もあって売上高は減少しました。

その結果、売上高は56億12百万円と前年同四半期と比べ5億4百万円（9.9%）の増収となりました。セグメント利益は4億52百万円と前年同四半期と比べ43百万円（10.6%）の増益となりました。

②食品事業

食品事業におきましては、日常食料品の節約・低価格志向が継続しておりますが、一方では景気の上向きにあわせ、高付加価値商品の売上が伸びている状況でもあります。

このような状況のなか、即席めん類は、価格競争や大手メーカーの新商品等の販売攻勢を受けるなどし、売上高は大きく減少しましたが、皿うどん類の増量タイプの商品が好調に推移いたしました。

また、子会社においては、コスモ食品株式会社のカレールー、ドレッシング及びジャム等の販売は順調に推移しました。そのほか、株式会社向井珍味堂が当第3四半期連結会計期間から業績に含まれております。

その結果、売上高は24億29百万円と前年同四半期と比べ8億94百万円（58.3%）の増収となりました。セグメント利益は2億52百万円と前年同四半期と比べ1億9百万円（75.8%）の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ14億86百万円増加し、120億93百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が9億13百万円、現金及び預金が5億96百万円増加したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末と比べ10億61百万円増加し、67億38百万円となりました。これは、主として長期借入金が5億65百万円、買掛金が2億73百万円、未払法人税等が1億95百万円増加したことなどによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比べ4億25百万円増加し、53億54百万円となりました。これは、主として利益剰余金が4億10百万円増加したことなどによるものであります。

なお、自己資本比率は前連結会計年度末と比べ2.2ポイント減少し、44.3%となりました。第2・第3四半期連結会計期間は、特に水産事業において販売及び仕入が多くなるという季節的変動により、売上債権及びたな卸資産等の流動資産並びに仕入債務がいずれも増加することから、自己資本比率は低下する傾向にあります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成25年5月15日に公表しました数値から変更しておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第2四半期連結会計期間において、株式会社向井珍味堂の発行済株式の全てを取得したことに伴い子会社となったため、連結の範囲に含めております。なお、みなし取得日を第2四半期連結会計期間末としているため、当第3四半期連結会計期間から損益計算書も連結しております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,580,048	2,176,579
受取手形及び売掛金	1,582,051	2,495,519
有価証券	75,269	84,406
商品及び製品	437,087	468,899
仕掛品	112,515	99,515
原材料及び貯蔵品	963,819	1,138,097
その他	522,909	183,688
貸倒引当金	△16,276	△12,710
流動資産合計	5,257,424	6,633,996
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,232,938	1,195,028
機械装置及び運搬具(純額)	639,903	687,727
土地	1,968,436	2,089,004
その他(純額)	96,079	43,802
有形固定資産合計	3,937,356	4,015,563
無形固定資産		
のれん	457,467	421,352
その他	34,355	30,426
無形固定資産合計	491,823	451,778
投資その他の資産		
投資その他の資産	962,642	1,056,402
貸倒引当金	△42,563	△64,600
投資その他の資産合計	920,078	991,801
固定資産合計	5,349,258	5,459,143
資産合計	10,606,682	12,093,140

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	534,018	807,971
短期借入金	2,343,050	2,358,704
未払法人税等	9,436	204,877
賞与引当金	113,378	52,187
その他	302,006	340,224
流動負債合計	3,301,890	3,763,965
固定負債		
長期借入金	1,755,500	2,320,911
退職給付引当金	43,195	72,215
役員退職慰労引当金	383,494	393,159
その他	193,313	188,382
固定負債合計	2,375,503	2,974,667
負債合計	5,677,394	6,738,632
純資産の部		
株主資本		
資本金	603,900	603,900
資本剰余金	458,400	458,400
利益剰余金	3,807,701	4,217,869
自己株式	△28,968	△28,968
株主資本合計	4,841,032	5,251,200
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	41,937	54,598
繰延ヘッジ損益	46,318	48,709
その他の包括利益累計額合計	88,255	103,307
純資産合計	4,929,288	5,354,507
負債純資産合計	10,606,682	12,093,140

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	6,642,850	8,042,217
売上原価	5,297,065	6,274,540
売上総利益	1,345,784	1,767,677
販売費及び一般管理費		
運賃諸掛	300,487	316,297
貸倒引当金繰入額	—	31,999
給料及び賞与	253,474	344,970
賞与引当金繰入額	16,670	15,202
役員退職慰勞引当金繰入額	7,173	10,669
その他	405,129	556,504
販売費及び一般管理費合計	982,933	1,275,644
営業利益	362,851	492,032
営業外収益		
受取利息	244	259
受取配当金	3,232	4,115
為替差益	2,844	23,753
受取保険金	35,377	6,963
雑収入	35,127	29,829
営業外収益合計	76,826	64,921
営業外費用		
支払利息	21,223	23,784
雑損失	13,492	927
営業外費用合計	34,716	24,711
経常利益	404,960	532,243
特別利益		
負ののれん発生益	—	92,765
特別利益合計	—	92,765
税金等調整前四半期純利益	404,960	625,009
法人税、住民税及び事業税	22,480	139,120
法人税等調整額	55,027	38,080
法人税等合計	77,507	177,200
少数株主損益調整前四半期純利益	327,453	447,808
四半期純利益	327,453	447,808

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	327,453	447,808
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,550	12,660
繰延ヘッジ損益	145,891	2,391
為替換算調整勘定	7,720	—
その他の包括利益合計	147,061	15,051
四半期包括利益	474,514	462,860
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	474,514	462,860
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,108,386	1,534,464	6,642,850	—	6,642,850
セグメント利益	408,947	143,885	552,832	△147,872	404,960

(注) 1 セグメント利益の調整額△147,872千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費160,575千円、営業外収益32,236千円、営業外費用19,533千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間にコスモ食品株式会社を連結子会社化したことを主因として、前連結会計年度の末日と比べて当第3四半期連結会計期間末の「食品事業」セグメント資産の金額が1,819,369千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	水産事業	食品事業			
売上高					
外部顧客への売上高	5,612,839	2,429,377	8,042,217	—	8,042,217
セグメント利益	452,129	252,916	705,046	△172,803	532,243

(注) 1 セグメント利益の調整額△172,803千円は、各報告セグメントに帰属しない全社費用等であり、提出会社の管理部門に係る販売費及び一般管理費179,678千円、営業外収益21,141千円、営業外費用14,266千円であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

第2四半期連結会計期間に株式会社向井珍味堂を連結子会社化したことを主因として、前連結会計年度の末日と比べて当第3四半期連結会計期間末の「食品事業」セグメント資産の金額が912,434千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。